

計画策定の流れについて

1 基礎調査として、アンケート調査を実施する場合

計画の策定にあたっては、はじめに府中市の環境を取り巻く現状や、世界や国の動向などを把握・整理するための基礎調査を行うとともに、現行計画の検証や市民・事業者意識調査等を行った上で、さまざまな視点からの課題整理と次期計画における改定方針の策定を行います。

次期計画の改定方針を踏まえ、新計画の基本的事項を整理するとともに、計画の枠組みである骨子（案）を作成し、目指すべき環境像や基本方針を検討します。

この骨子（案）等に基づき、施策体系や各主体の行動指針、推進体制等を検討した上で、計画案としてとりまとめ、パブリックコメントを実施し、その内容を反映させて最終的な計画として策定します。

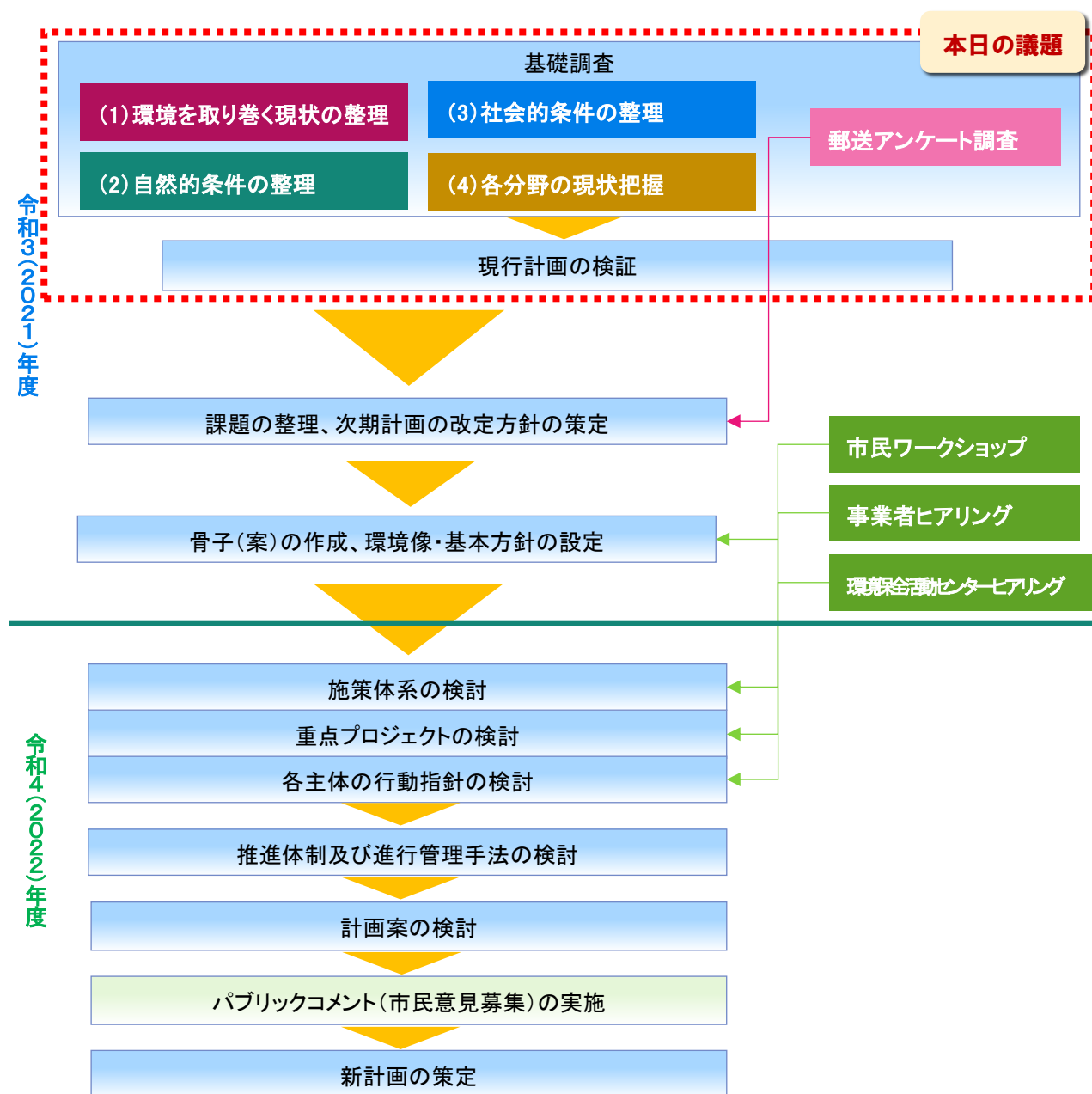


図 1-1 新計画策定の流れ

2 計画の改定方針を策定した後にアンケート調査を実施する場合

はじめに、府中市の環境を取り巻く現状や、世界や国の動向などを把握・整理するための基礎調査を行い、現行計画の検証を行ったうえで、課題を整理します。その上で、新しい計画の改定方針を定め、その方針に基づき、アンケート調査を実施します。

その後、アンケート調査結果や次期計画の改定の方針を踏まえ、新計画の基本的事項を整理するとともに、計画の枠組みである骨子（案）を作成し、目指すべき環境像や基本方針を検討します。

この骨子（案）等に基づき、施策体系や各主体の行動指針、推進体制等を検討した上で、計画案としてとりまとめ、パブリックコメントを実施し、その内容を反映させて最終的な計画として策定します。

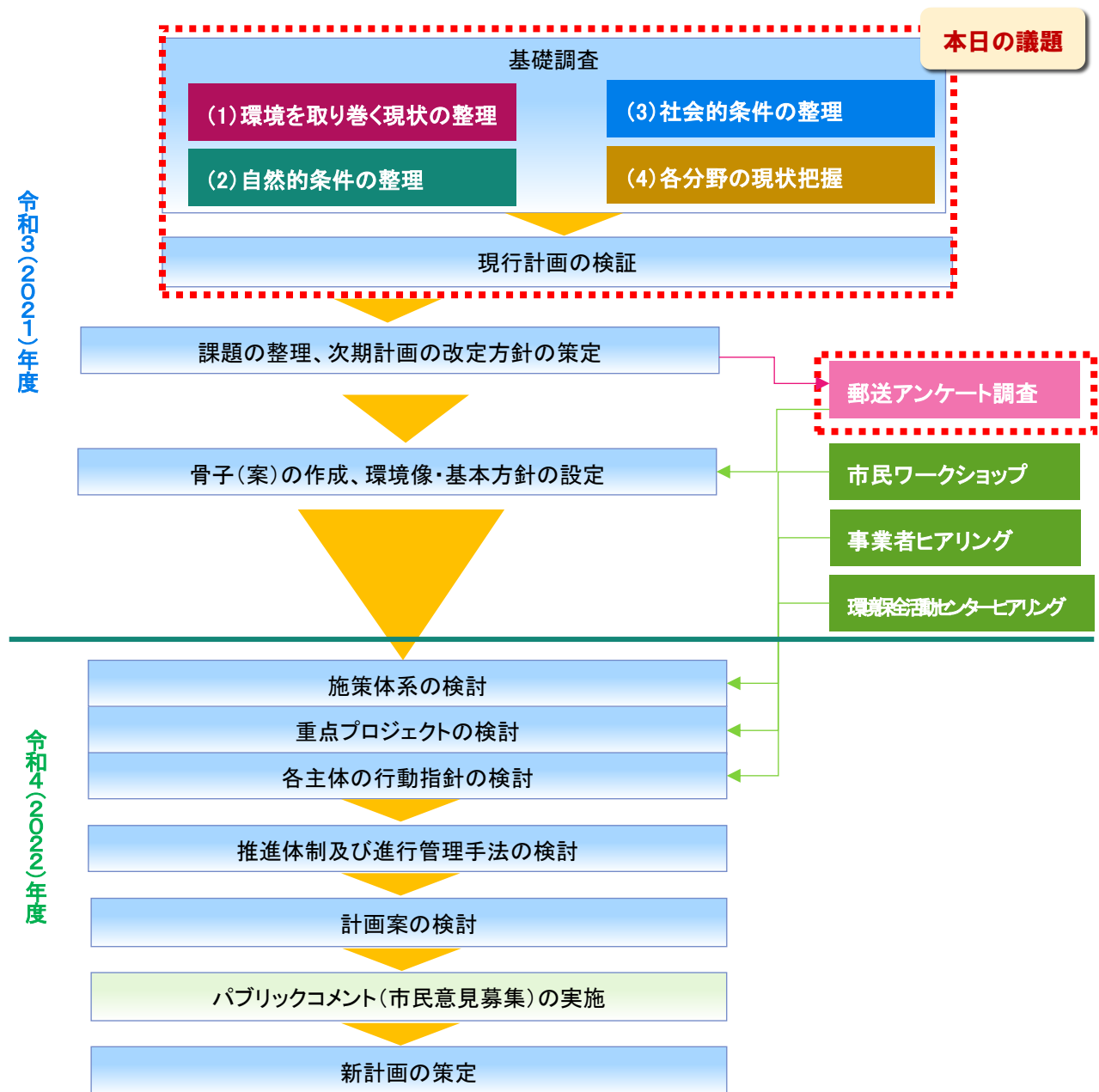


図 2-1 新計画策定の流れ